

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ポムリエ アルファ		
○保護者評価実施期間	令和8 2月10日	～	令和8 2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和8 2月10日	～	令和8 2月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8 3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学校や関係機関とのやりとりを通じて児童の動向を把握し、家庭との連携をとっている。	・申送りを必ず行って、児童の様子や家庭状況を共有している。 ・保護者からの児童に対する相談に対して複数の職員で話し合いを行う、アドバイスを行っている。 ・電話連絡や送りの際にこまめに児童の様子を伝えるようにしている。	・モニタリングや個別支援計画のための保護者面談を複数の職員で行い、相談しやすい環境をつくっている。
2	・児童の自立や善悪の判断を促す取り組みや意識づけを行っている。 ・児童同士の関係を深め、自己決定を行っている。 ・児童の発達段階に合わせた支援プログラム(チャレンジ)を行っている。	・長期休みや土曜日は多彩なイベントや外出イベントを通じ児童同士のコミュニケーションを図ろうとしている。 ・日々の利用時において積極的に児童間のかかわりを持つようにしている。 ・児童の興味関心に合わせた特性に合わせたチャレンジを増やして興味をもち自己肯定感が上がるようにしている。	・職員が共感的に関わり、児童間の橋渡しの役割の強化をい行っている。
3	・小学三年生から高校三年生までと年齢層が幅広く、また多様な特性をもつ児童の対応をしている。 ・不登校児童や引きこもり児童の対応をしている。	・日頃から保護者と支援の方向性を話し合っって同じ視点で支援にあたっている。 ・自治体、公認心理士や理学療法士などいろいろな職域や職種の方と連携をとってケース会議を行っている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の会などの家族支援が少なかった。	・過去にはペアレントトレーニングを行ったことがあるが、最近では行っておらず会を開催する流れを知らない職員が多い。 ・高校進学に置ける情報交換会は一回行ったが、今後需要があるかどうかかわからない。	・保護者にアンケートなどを取り、交流を持ちたい同じ悩みをもつ保護者同士の座談会などの場を提供することを企画していく。
2	・地域との交流が少なく、イベント等で地域住民を招待する機会がない。	・保護者が望んでおらず、開催に対して慎重にならざるを得ない。	・個人情報や人権をしっかりと守った上で、保護者の意見を聞きながら検討する。
3	・障害児サービスから障害者サービスへ移行する児童が少ない。	・中高、支援学校児童の移行対象がいない。	・他事業所との連携やセミナーを通して、18歳以上の移行支援が行える環境づくりを行う。